

～スワルスキーカズリダニ（パック製剤）を用いた 温室メロンの害虫防除（例）～

2025/6/5

×合ピレ、有機リン、カーバメート剤は不可

天敵導入前（育苗期含む）にマラソン、ダイアジノン、アディオオン、アーデント、アグロスリン、ロディーなどを使った場合、放飼しないで下さい。

◎スワルスキーはアザミウマやコナジラミの成虫を食べられないので、粘着トラップ（ホリバー）を併用してください。

△グレーシア乳剤等のカブリダニ類に対して影響が長い薬剤は、使用しないでください。

◎定植後14日～21日が導入適期です。なるべく早めに放飼してください。

は種後
日数

散布時期	設置資材	発生病害虫名	薬剤名	備考	
0日	圃場準備				
育苗期	放飼 2週間 以上前	アザミウマ、コナジラミ類	スピノース顆粒水溶剤 5000倍 (※)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> モベントフロアブル との併用例 </div> <p>(※) スワルスキーに強い影響があるため、 放飼後は使わないでください。</p>	
		アザミウマ類、コナジラミ類、 ウリノメイガ、ハモグリバエ類	ディアナSC 2500～5000倍 (※)		
		うどんこ病	モレスタン水和剤 4000倍 または パルミノフロアブル 2000倍 (※)		
30日	定植前	アザミウマ類、コナジラミ類、 ハダニ類、アブラムシ類	モベントフロアブル 500倍/50ml/株 灌注処理		
定植時	苗床や、 定植ま ではホリ バー青と 黄色を 設置（そ れぞれ 10×20 枚づつ/ 30×60 坪）	粘着トラップ（ホリバーブ ルー、ホリバーイエロー） の設置	アザミウマ成虫はハウス内の土中に潜んでいて、定植すると一機に定植したばかりの苗に飛びついてきます。そこで、メロンを定植する前に粘着トラップを定植前の地面に設置して、アザミウマ成虫を捕獲します。	この時期に 粘着板を設置する のがおすすめ →	
		定植当日 または 1日後	うどんこ病（必須防除）	モレスタン水和剤 4000倍 または パルミノフロアブル 2000倍 (※) かん水後の葉がシャキッとした後に散布してください。（薬害の懸念あり）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 2週間以上 空ける！ </div>
		放飼 2週間前	コナジラミ類・アブラムシ類	コルト顆粒水和剤 4000倍	
		放飼 1週間前	アザミウマ類、コナジラミ類、ハ ダニ類	アグリメック 500～1000倍 (※※)	
45日	放飼 1週間前	アザミウマ類、コナジラミ類、ウ リノメイガ、ハモグリバエ類	アフアーム乳剤 2000倍 (※※) アザミウマ類は1000～2000倍	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (※※) スワルスキーに影響があるため、 放飼1週間前までに散布 </div>	
		放飼前日 まで	うどんこ病		イオウフロアブル 1000倍
		放飼日	スワルスキープラスUM 1袋（100パック）を1温室に設置（葉陰に設置） （またはスワルスキー 250ml × 1本）		
50日	放飼後 1週間		※ 放飼後1週間は薬剤散布、整枝をし ないでください。 産まれたばかりのスワルスキーの卵や 幼虫が多いためです。	放飼したばかりのスワルスキーが卵を産んで、生まれたばかりの 幼虫が葉裏を歩いているためです！	
		うどんこ病	ショウチノスケフロアブル 2000倍 イオウフロアブル 1000倍 バチスター水和剤 1000倍（子 1000倍）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1週間以上 何もしない </div>	
		ハダニ類 つる枯病 オオタバコガ、ハモグリバエ類 アザミウマ類（ミジメアザミウマ）	ダイニサバフロアブル 1000倍 アフエットフロアブル 2000倍 ブレバソフロアブル 2000倍 ブレオフロアブル 1000倍 (※) (ポタニガード水和剤 1000倍と併用)		
60日	幼果期	うどんこ病	イオウフロアブル 1000倍 バチスター水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (※) スワルスキー導入中のアザミウマ防除は影響の少ない 薬剤でアザミウマの飛び込み、発生に応じて実施 </div>	
		コナジラミ類・アブラムシ類	ウララDF 2000倍		
		ウリノメイガ	マトリックフロアブル 2000倍 イオウフロアブル 1000倍		
70日	ネット期	うどんこ病	イオウフロアブル 1000倍 バチスター水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ポタニガード水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）併用散布 </div>	
		アザミウマ類・コナジラミ類	アバリア/スター顆粒水和剤 2000倍 (※) （ポタニガード水和剤 1000倍と併用）		
		ハダニ類	スターマイトフロアブル 2000倍		
80日	交配30日	陥没病	トップジンM水和剤 1500倍 注) 葉表と果実を中心に散布してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 葉裏にスワルスキーがいるため、葉裏にからないように散布し てください </div>	
		うどんこ病	アミスター20フロアブル 3000倍 イオウフロアブル 1000倍 バチスター水和剤 1000倍（子 1000倍）		
		アザミウマ類・コナジラミ類	アバリア/スター顆粒水和剤 2000倍 (※) （ポタニガード水和剤 1000倍と併用）		
90日	交配40日	つる枯病	トップジンM水和剤 1500倍 注) 葉表と果実を中心に散布してください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 葉裏にスワルスキーがいるため、葉裏にからないように散布し てください </div>	
		べと病	ダコニール1000 1000倍		
		うどんこ病	ストロビーフロアブル 4000倍 イオウフロアブル 1000倍 バチスター水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）		
80日	交配30日	アザミウマ類	ダントツ水溶剤 2000～4000倍 アクタラ顆粒水溶剤 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 8000倍（子メロン 2000～4000倍）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> スワルスキーに強い影響があるため、 収穫前の切り札としてご利用ください。 使わないほうが次作のアザミウマが少ないようです。 </div>	
90日	交配40日	アザミウマ類	アフアーム乳剤 1000～2000倍		

～スワルスキー＆スワルスキープラスUMの導入のポイント～

- ◆ **まず定植前に粘着板を設置してアザミウマ成虫を捕まえます！**
- ◆ 温室外からのアザミウマ成虫の飛び込みによる被害を軽減するためにホリバーを併用しましょう！
- ◆ 摘葉した葉や脇芽は、しおれるまで3日くらい株元に放置してください。
- ◆ 定植2週間後が放飼適期。遅くても交配前までには放飼してください。
- ◆ アザミウマが増える心配がなければ、雄花は3つくらい残しておくこととスワルスキーが増えやすいです。
- ◆ 交配前もしくは交配後にアザミウマ対策として、スワルスキーに影響が少ない薬剤を散布してください。（影響表を参照）
- ◆ **秋口にスワルスキーを使用すると働きが悪い時があります。**
午前中に通路やベッド下に軽く水をまいておけば大丈夫です。
- ◆ アザミウマの蛹は、ベッド下の土壌の中に潜んでいると言われています。収穫後に消毒する際はベッド下も注意してください。
- ◆ アクタラ顆粒水溶剤は「O」ですが、思ったより影響があるようですので、使う場合は交配25日以降にしてください

